

平成31年 2月 5日

- ア 向日が丘支援学校の改築とともに寄宿舎の充実・発展を求める要請署名について 向日が丘支援学校の改築を考えるつどい

請	願	書	0 件
要	請	書	1 件
	計		1 件



( 報 告 )

向日が丘支援学校の改築とともに寄宿舍の充実・発展を求める  
要請署名について

向日が丘支援学校の改築を考えるつどいから要請書及び署名が提出されましたので、  
下記とおり報告します。

平成31年2月5日

教育長 橋本 幸三

記

- 1 提出日 平成31年1月18日
- 2 提出者 向日が丘支援学校の改築を考えるつどい  
署名数：8, 808筆 (累計13, 139筆)
- 3 要請事項 (1) 老朽化した向日が丘支援学校の校舎改築に一日も早く着工して下さい。その際、障がい当事者・保護者・教職員はじめ府民の声を聞いてください。  
(2) 向日が丘の寄宿舍は子どもたちが毎日の生活を営みながら、生活基盤を整え、仲間とともに学び合い、自立と社会参加に向けた力を養う大切な場です。寄宿舍をなくすことなく充実・発展させて下さい。  
(3) 乙訓地域に住む子どもたちに医療・療育・リハビリテーションなどを保障し、障害者権利条約が生きる地域づくりを進めて下さい。

京都府知事 様  
教育長 様  
府議会議員 様

## 向日が丘支援学校の改築とともに寄宿舎の充実・発展を求める要請署名

向日が丘支援学校は、肢体不自由養護学校として開校し、50周年を迎えました。今、子どもたち・保護者・教職員がねがい続けた「校舎の改築」が決定されるというニュースが届き、心おどる思いでいます。

また、長岡京市と京都府が「向日が丘共生型地域づくり構想」として、改築される向日が丘支援学校の周りに老人福祉センターや発達障がい児・者の発達相談、地域支援センターなどの障がい児・者福祉サービス施設を建設することが話し合われているとうかがっています。

私たちは、向日が丘支援学校の改築を機に、乙訓の障がいのある子どもたちの教育や生活が今より豊かになるよう願っています。50年を経て老朽化した校舎・寄宿舎を一日も早く最新のものに改築されることを切望しています。寄宿舎には、障がいのある子どもたちが毎日仲間との寝泊まりを行う中で、生活自立の力を育む大切な教育的役割があります。加えて、乙訓地域の障がいのある子どもたちが、生活の立て直しのために緊急一時的に利用できるようにするなど、希望する子どもたちが利用しやすい寄宿舎として改築してください。PTA 寄宿舎部の保護者が実施した寄宿舎に関するアンケートでは、(全校生徒保護者の76%が回答)、73%の人が「寄宿舎は必要である」と回答しています。

障害者権利条約は「みんなちがってみんないい」という多様性や個性が大事にされ、障がいがあっても特別な支援があれば、障がいのない人々と同じように地域社会への参加ができ、いっしょに生きていくことが大切と宣言しています。乙訓地域の障がい児・者が乙訓の地域住民として豊かに生活できるよう条件整備をしてください。

### 私たちのねがい（要請事項）

1. 老朽化した向日が丘支援学校の校舎改築に一日も早く着工して下さい。その際、障がい当事者・保護者・教職員はじめ府民の声を聞いてください。
2. 向日が丘の寄宿舎は子どもたちが毎日の生活を営みながら、生活基盤を整え、仲間とともに学び合い、自立と社会参加に向けた力を養う大切な場です。寄宿舎をなくすことなく充実・発展させて下さい。
3. 乙訓地域に住む子どもたちに医療・療育・リハビリテーションなどを保障し、障害者権利条約が生きる地域づくりを進めて下さい。

氏 名	住 所

向日が丘支援学校の改築を考えるつどい (連絡先 mukou.kaichiku@gmail.com)  
(ご記入頂いた内容は要請署名以外の目的で使用することはありません)